

# 株式会社ツムラ 2019年度 第2四半期決算説明会

(2019年4月1日～2019年9月30日)

2019年11月7日(木)

取締役常務執行役員CFO 半田 宗樹

# 2019年度 第2四半期決算

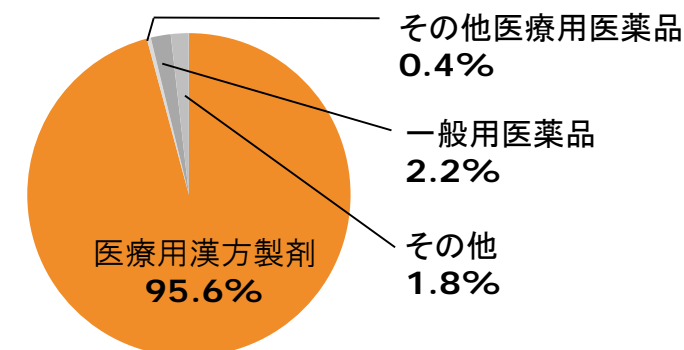
# 2019年度 第2四半期決算の概要

(百万円)

	2019年度 2Q計画	2019年度 2Q実績	達成率	2018年度 2Q実績	前年同期比	
					金額	伸長率
売上高	61,500	<b>60,802</b>	98.9%	58,268	2,533	4.3%
営業利益 (営業利益率)	8,100 (13.2%)	<b>9,776 (16.1%)</b>	120.7%	8,950 (15.4%)	826	9.2%
経常利益	8,700	<b>9,856</b>	113.3%	9,566	290	3.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,000	<b>7,037</b>	117.3%	7,082	△44	△0.6%

	2019年度 2Q計画	2019年度 2Q実績	2018年度 2Q実績
配当金 (1株当たり)	32円	<b>32円</b>	32円

## 売上高構成比



# 決算のポイント

前年同期と比べ増収微減益の決算、売上高は計画未達ながら、すべての利益計画を達成

連結売上高	<b>60,802</b> 百万円	計画達成率	<b>98.9%</b>	前年同期比	<b>+4.3%</b>
-------	-------------------	-------	--------------	-------	--------------

- 医療用漢方製剤129処方の売上高は、前年同期比+4.2%、金額ベースで87処方が伸長しました。
- OTC医薬品の売上高は、前年同期比+15.9%伸長しました。

営業利益	<b>9,776</b> 百万円	計画達成率	<b>120.7%</b>	前年同期比	<b>+9.2%</b>
------	------------------	-------	---------------	-------	--------------

営業利益率	<b>16.1</b> %			前年同期比	<b>+0.7pt</b>
-------	---------------	--	--	-------	---------------

- 売上原価率は、生薬関連コストが低減したものの、未実現利益の影響により40.9%（前年同期比+0.5pt）となりました。計画に対しては、未実現利益の影響時期の遅れにより、 $\Delta 0.9$ ptとなりました。
- 販管費率は、販売感謝金、研究開発費が増加したものの、売上高増加により43.0%（前年同期比 $\Delta 1.2$ pt）となりました。計画に対しては、主に研究開発費や経費の支払い時期のズレにより、 $\Delta 2.0$ ptとなりました。

経常利益	<b>9,856</b> 百万円	計画達成率	<b>113.3%</b>	前年同期比	<b>+3.0%</b>
------	------------------	-------	---------------	-------	--------------

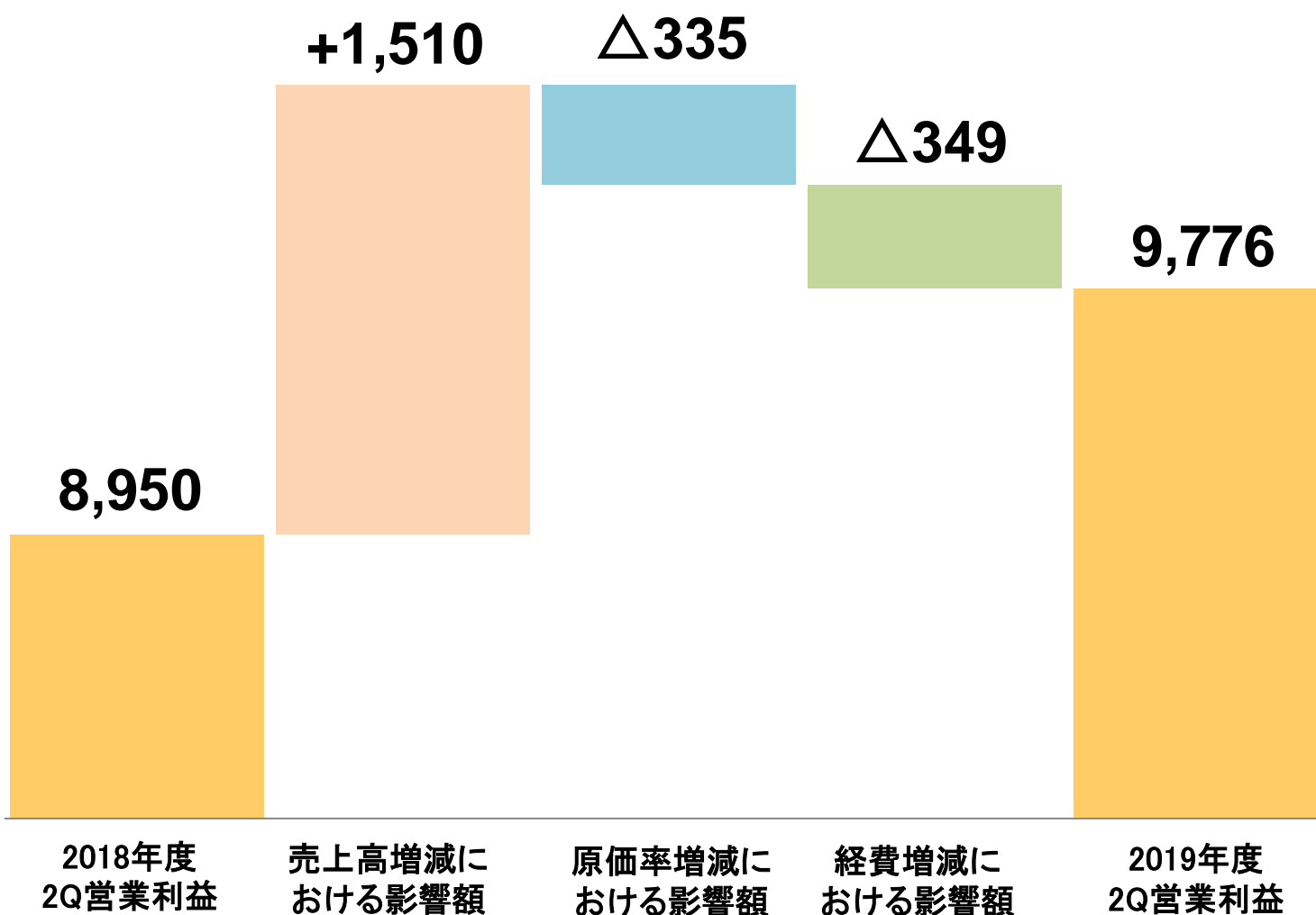
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<b>7,037</b> 百万円	計画達成率	<b>117.3%</b>	前年同期比	<b><math>\Delta 0.6</math>%</b>
----------------------	------------------	-------	---------------	-------	---------------------------------

- 前年同期には、投資有価証券売却益(324百万円)を特別利益として計上しておりました。その影響で、当第2四半期の四半期純利益は前年同期比 $\Delta 0.6$ %、計画対比では+17.3%となりました。

# 営業利益の増減要因(前年同期比較)

(百万円)

(百万円)



## 原価率増減における影響額内訳

生薬費の低減	+486
未実現利益の増加	△670
その他	△151

## 経費増減における影響額内訳

販促費、感謝金	△238
研究開発費	△142
人件費	△113
その他	+144

# 財務状態

## バランスシート

(百万円)

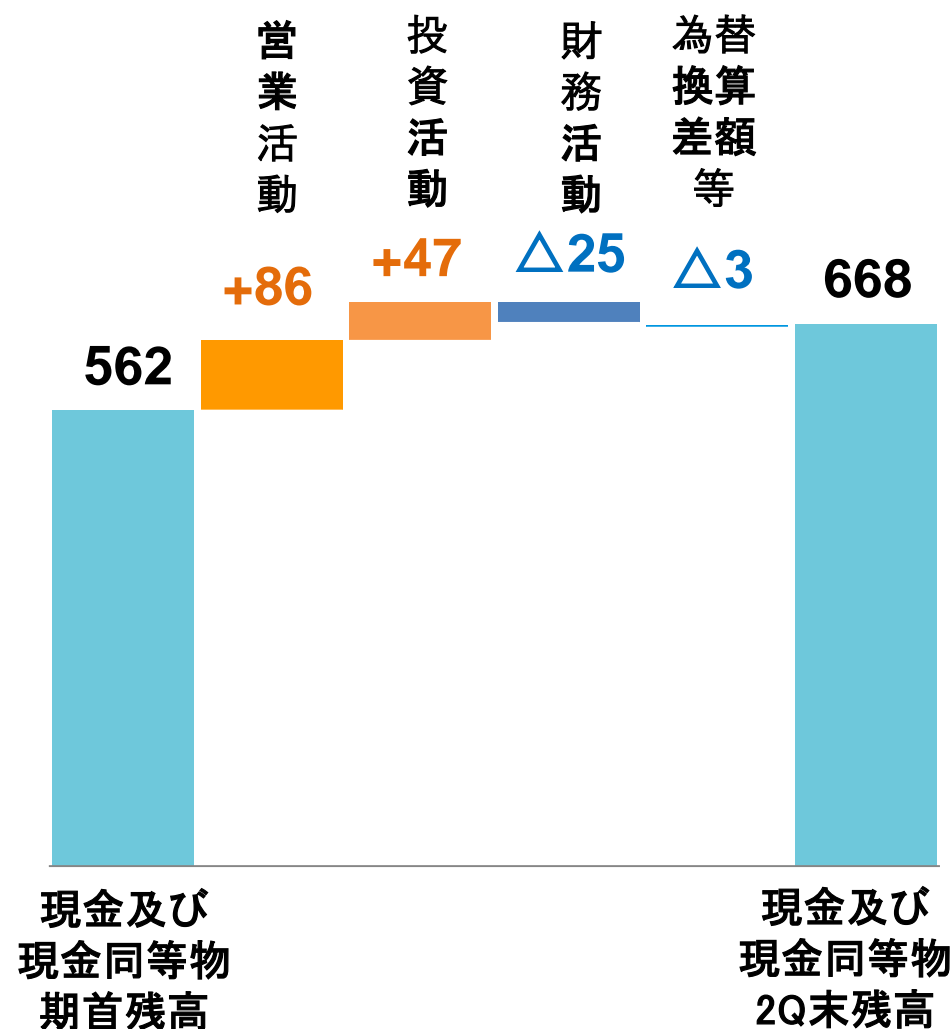
	2019年 3月末	2019年 9月末	増減額
資産合計	287,322	<b>287,010</b>	△312
流動資産	190,027	<b>187,678</b>	△2,349
固定資産	97,295	<b>99,331</b>	2,036
負債合計	81,181	<b>80,170</b>	△1,010
流動負債	33,320	<b>33,222</b>	△97
固定負債	47,861	<b>46,948</b>	△912
純資産合計	206,141	<b>206,839</b>	697
自己資本比率	70.2%	<b>70.6%</b>	0.4pt

(百万円)

B/S	2019年 3月末	2019年 9月末	比較増減
たな卸資産	51,808	<b>56,726</b>	4,917
(商品及び製品)	9,382	<b>7,258</b>	△2,124
(仕掛品)	11,125	<b>13,493</b>	2,367
(原材料及び貯蔵品)	31,299	<b>35,974</b>	4,675

## キャッシュ・フローの状況

(億円)



# 長期経営ビジョン実現へのロードマップ



1. 漢方市場の持続的拡大とプレゼンスの確立
2. 中国における成長投資と事業基盤の構築
3. 新技術を活用した生産性の向上 — AI、ロボット化、RPA—
4. 理念経営による企業文化の醸成と多様な人財の開発
5. 漢方バリューチェーンを通じたSDGsの推進



# 医療用漢方製剤（育薬処方・Growing処方）売上高

(百万円)

	売上順位	製品No./処方名	18年度2Q	19年度2Q	前年同期比	
育薬処方	1	100 大建中湯	5,226	<b>5,262</b>	36	<b>0.7%</b>
	2	54 抑肝散	3,848	<b>3,953</b>	104	<b>2.7%</b>
	3	43 六君子湯	3,559	<b>3,719</b>	160	<b>4.5%</b>
	9	107 牛車腎気丸	1,806	<b>1,831</b>	25	<b>1.4%</b>
	22	14 半夏瀉心湯	670	<b>717</b>	47	<b>7.0%</b>
合計			15,110	<b>15,484</b>	373	<b>2.5%</b>
Growing処方	4	41 補中益気湯	3,680	<b>3,670</b>	△9	△0.3%
	5	68 芍薬甘草湯	2,629	<b>2,724</b>	94	<b>3.6%</b>
	8	29 麦門冬湯	2,004	<b>2,210</b>	206	<b>10.3%</b>
	6	24 加味逍遙散	2,263	<b>2,348</b>	84	<b>3.7%</b>
	7	17 五苓散	2,112	<b>2,318</b>	206	<b>9.8%</b>
合計			12,691	<b>13,273</b>	581	<b>4.6%</b>
育薬処方・Growing処方以外の119処方合計			27,998	<b>29,384</b>	1,385	<b>4.9%</b>
医療用漢方製剤129処方合計			55,799	<b>58,141</b>	2,341	<b>4.2%</b>

上期業績未達の  
主要因

※ 売上高の25%を占める育薬処方の対前年同期伸長率+2.5%。  
(医療用漢方製剤合計では+4.2%)

育薬処方: 近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンス(科学的根拠)を確立することを「育薬」と名付け取り組んでいる処方

Growing処方: 育薬処方に続く戦略処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築(安全性・有効性データ等)により診療ガイドライン掲載を目指す成長ドライバー

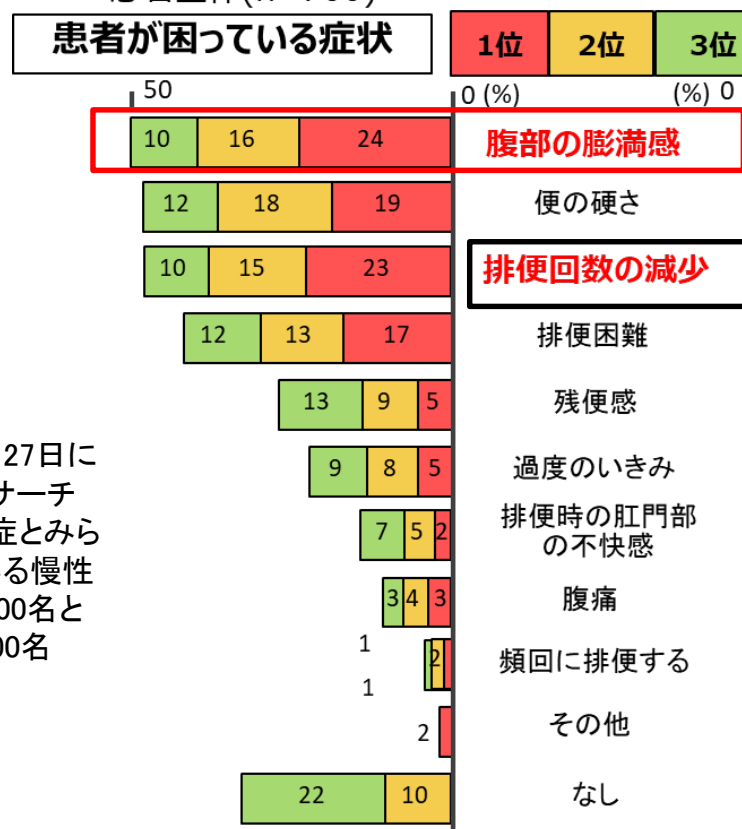


# 大建中湯の販売施策 「前同比プラスに転じたものの、腹部膨満感の訴求がポイント」

## 『患者が特に困っている慢性的な便秘症状と医師が診断にあたり重視する症状』

Q. あなたの慢性的な便秘症状の特徴のうち、特に困っている症状の上位3つをお知らせ下さい。

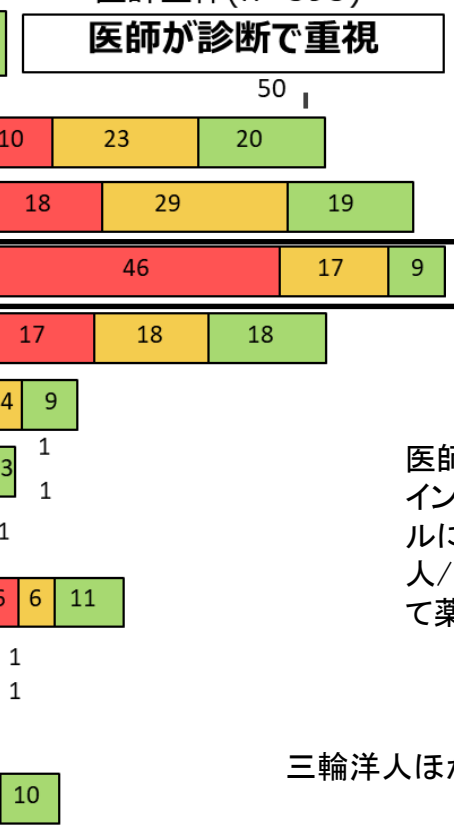
患者全体(n=700)



患者調査：2017年1月19日～1月27日にインターネット調査実施。楽天リサーチパネルに登録があり、慢性便秘症とみられる症状が6ヵ月以上持続している慢性便秘症患者。医療機関治療群 500名とOTC医薬品治療群 200名の計700名

Q. 先生が診断される慢性便秘症の特徴のうち、診断にあたり重視する項目を3位までお知らせ下さい。

医師全体(n=393)



医師調査：2017年1月18日～1月23日にインターネット調査実施。エムスリーパネルに登録があり、慢性便秘症患者を10人/月以上診療し、かつその患者に対して薬物療法を行っている医師 393名

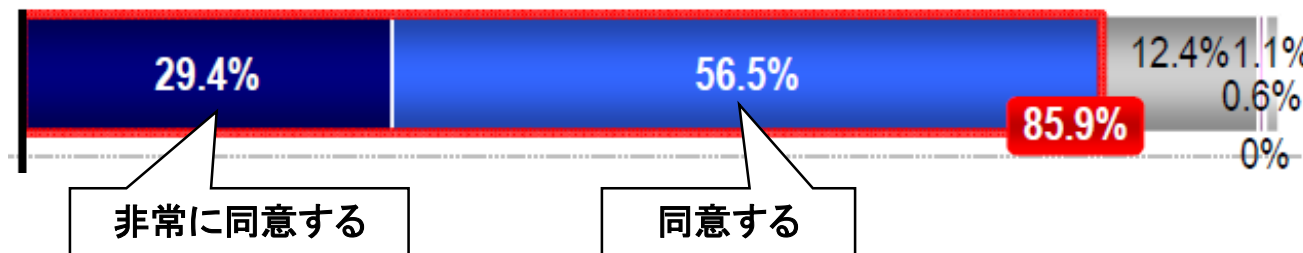
三輪洋人ほか. Therapeutic Research. 2017, 38(11), p.1101-1110より

活性化が進む「便秘症」市場において、便秘症に伴う腹部膨満感への活動を強化

# 大建中湯の販売施策

## ■腹部手術に関する医師の考え

Q.周術期に腸管の血流を改善することは重要である (n=177)



外科医は周術期管理に、『腸管血流改善や腸内細菌の状態』を重要視

m3.com会員医師を対象にしたアンケート調査(2019年8月)

腸管血流改善として作用する大建中湯は、周術期管理において早期離床・早期退院という医療ニーズに応えられる可能性がある

【今までの主な訴求ポイント】  
消化管運動亢進

施策拡充

腸管血流改善

# 六君子湯の販売施策

## 六君子湯の薬理作用

- ・消化管運動亢進作用(イヌ)
- ・胃粘膜血流低下抑制作用(ラット)
- ・胃適応性弛緩に対する作用(in vitro)
- ・食欲増進に対する作用(マウス、ラット)
- ・胃粘膜障害に対する作用(ラット)

**六君子湯**は多様な作用を有しており、複雑な病態の機能性ディスぺプシア(FD)の上腹部症状に対する有効性は二重盲検比較試験で証明

処方	2019年度	2020年度	2021年度
六君子湯	ターゲティング施策…「DREAM Study <sup>※</sup> 」資材等を用いた情報提供		
六君子湯	消化器内科を中心とした学術講演会の実施 Web講演会・リアル講演会の展開		
半夏瀉心湯	新たなエビデンス情報の資材化 → プロモーション強化		

上部消化管疾患治療薬として更なるプレゼンスの確立

※DREAM Study:機能性ディスぺプシア患者に対する六君子湯の有効性及び安全性に関する多施設二重盲検比較試験

# 抑肝散の販売施策

抑肝散  
単独プロモーション

施策拡充

認知症の各諸症状に  
応じた処方提案

## ■ 認知症の周辺症状と経過

体重減少  
徘徊 不適切行動  
意欲減退 体重減少 妄想 脱抑制 体重減少  
誤認 不安・抑うつ 幻覚 反復行動 無為

前駆期

I期

II期

III期

## ■ 採用施設状況

54抑肝散 採用施設	約44,000軒
108人参養栄湯 採用施設	約21,000軒
両剤採用施設	約7,500軒

## ■ 認知症の各諸症状に応じた処方提案

・54抑肝散

(効能効果: 神経症、神経がたかぶるものなど)

・108人参養栄湯

(効能効果: 疲労倦怠、食欲不振など)

・83抑肝散加陳皮半夏

(効能効果: 神経症、神経がたかぶるものなど)

・137加味帰脾湯

(効能効果: 不眠症、精神不安など)

## 漢方医学セミナーの取り組み

### KAMPO Mega Web講演会

17,878人の医師が視聴参加（2019年9月25日開催）

→各エリアで実施しているセミナーを案内

### 卒後漢方医学入門セミナー

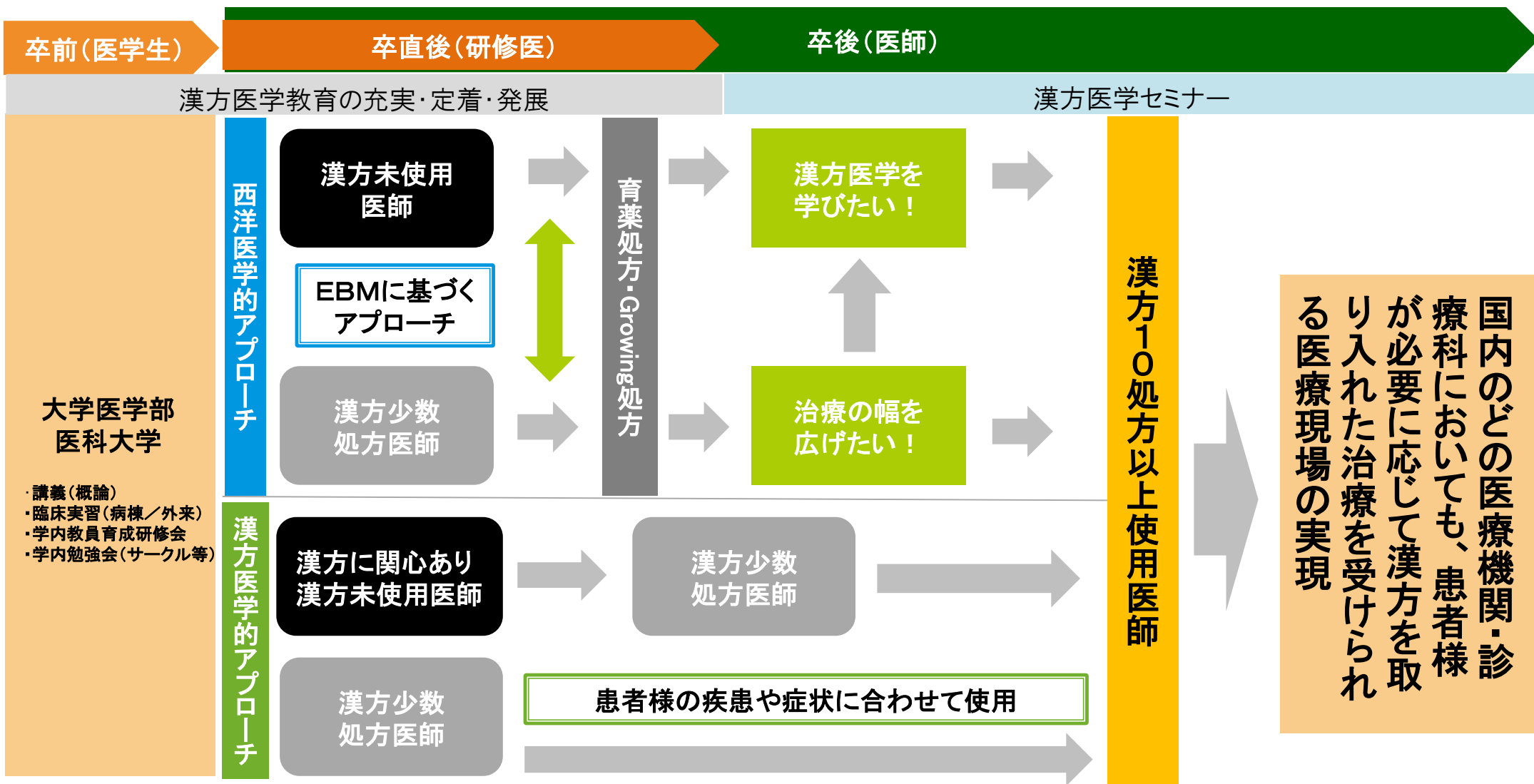
2019年度は全国で33回実施予定

4-9月期は1,062名が参加 →新規参加者は512名

### 領域別研究会入門セミナー

泌尿器科漢方、産婦人科漢方、脳神経外科漢方にて開催

# 「10処方以上の漢方を処方する医師」へのアプローチ



「10処方以上の漢方を処方する医師」へのアプローチは順調に進展中



## 下期営業重点施策

項目	内容
消化器領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大建中湯…便秘症に伴う腹部膨満感への活動を強化 腸管血流改善としての作用を訴求、多職種対象の説明会開催</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・六君子湯…大建中湯とのデュアル資材<sup>※</sup>を活用し、上部消化管運動促進剤市場において、更なるプレゼンスの確立を目指す</li> </ul>
高齢者領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抑肝散…認知症の各諸症状に応じた処方提案</li> <li>・高齢者がお困りの「食べる・寝る・出す」に関連した処方の情報提供活動</li> </ul>
Web講演会 入門セミナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Web講演会視聴者を入門セミナーへ動員</li> <li>・Web講演会第2弾の開催とフォローアップ企画の実施</li> <li>・上期の入門セミナー参加医師のうち、新規参加医師のフォローアップ</li> </ul>

※デュアル資材:2つの処方を同時にディテールできる資材

「漢方市場の持続的拡大」を目指した情報提供活動の継続



# 2019年度通期見込み

# 2019年度 業績予想

➤ 2019年5月10日の業績予想に変更なし

(百万円)

	2018年度	2019年度予想	前期比	
			金額	伸長率
売上高	120,906	<b>125,000</b>	4,093	3.4%
営業利益 (営業利益率)	18,520 (15.3%)	<b>17,000</b> <b>(13.6%)</b>	△1,520	△8.2%
経常利益	19,702	<b>18,000</b>	△1702	△8.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,593	<b>12,300</b>	△2,293	△15.7%

	2018年度	2019年度予想
配当金(1株当たり)	64円	<b>64円</b>
EPS	190円	<b>160円</b>
ROE	7.4%	<b>6.0%</b>

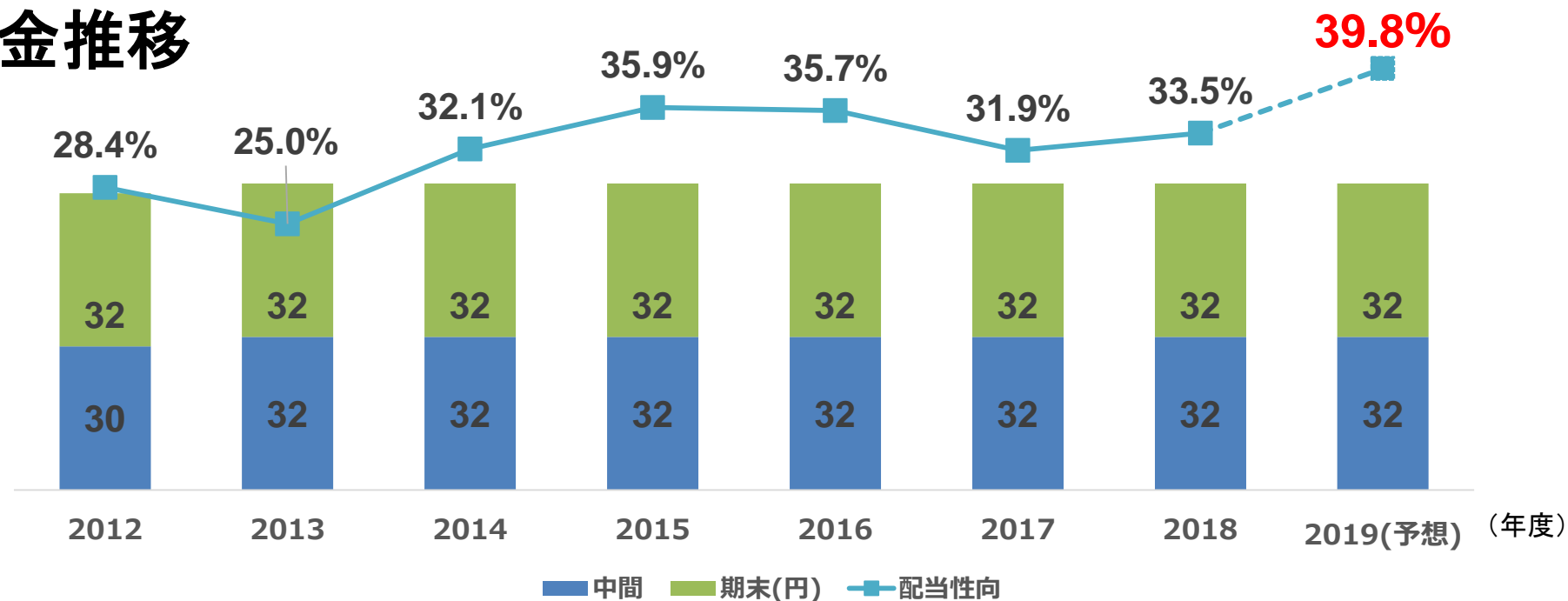
# 株主還元

# 株主還元

## 方針

- “漢方”事業の持続的な拡大と中国事業の成長投資および基盤構築を通じて、企業価値の向上を図る
- 中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況等を勘案し、安定配当を実施する

## 配当金推移



(注) 2019年度の期末配当金および配当性向(予想)は、第84回定時株主総会による配当議案が決議された場合の数値を記載

本資料に関するお問い合わせ先

## 株式会社ツムラ

コーポレート・コミュニケーション室

広報グループ

IR推進グループ

TEL:03-6361-7100

TEL:03-6361-7101

### 見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 現在発売している主要製品が、万が一製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。